



今月の一枚

This month's best shot

撮影／時之栖



ブルーのイルミネーションに囲まれて

冬の風物詩、時之栖のウィンターイルミネーションがスタートしました。今年の地域参加型コーナーのテーマは「色彩美ブルーガーデン」。市は「ブルー・フルール（青い花）」と題して、光を浴びる青いジャイアントフラワーとすそのんのフォトスポットで展覧しています。早速、親子連れで写真を楽しんでいました。



もののふが集結チャンバラ合戦

10月28日

葛山城ゆかりの仙年寺で第18回もののふの里「葛山城」まつりが行われました。まつりでは天下取りチャンバラ合戦が行われ、12チームが参加しました。チャンバラ合戦が始まると、大きな歓声が会場内に響き渡り、女子大将の活躍など見ごたえ十分の合戦でした。

特派員：中村 隆司



遊びを通じ関わり合いの楽しさを知る 10月28日

生涯学習センターで秋のわんぱく冒険隊が開催されました。小学3～6年生25人が参加し、6つの班に分かれ自己紹介の後、団体行動の基本動作を学びました。また、ゲームを通してコミュニケーションの大切さを元気に楽しく学び、充実した一日になりました。

特派員：原 久子・小林 建次・勝又 しんじ



芸術・文化に触れる12日間

10月31日

市民芸術祭の開会式が市民文化センターで行われました。開会式では、合唱連盟によるコーラスや二胡の演奏が行われ、第1部・2部あわせて12日間に渡る芸術祭が幕を開けました。期間中は多くの方が来場し、市民の皆さんによる芸術を堪能しました。



みんなで気づこう 子どもの変化

11月1日

要保護児童対策地域協議会がベルシティとマックスバリュ裾野店の2カ所でキャンペーン活動を行いました。店頭でパンフレットや啓発グッズなどを手渡ししながら、買い物客らに「児童虐待の防止は、社会全体で取り組むべき重要な課題です」と呼びかけました。

特派員：杉本 武満



人の心に焼き付く作品・研究発表

11月3日

不二聖心女学院で第52回秋のつどいが行われました。校内の茶畑で作られた不二茶やお菓子などの物品販売が行われ、にぎわう会場内は楽しい雰囲気に包まれていました。また、自由研究や演劇、吹奏楽などの発表があり、訪れた方の心を豊かにしてくれました。

特派員：渡邊 英機・原 久子



地域の高まりは心のふれあいから

11月3日

須山地区研修センターで第19回須山地区意見発表会が行われました。登壇者は学校や家庭、郷土などについて感じていることを伝えました。住みやすい地域づくりをすることを目的に、発表を通じてコミュニティの輪が広がり、世代間の相互交流が深まりました。

特派員：杉本 武満



災害支援協定で市民の不安解消に

11月6日

平常時の災害対策及び災害時被災者支援活動に関する協定が、県弁護士会と結ばれました。市からの要請を受け弁護士を派遣するなど、災害時に市民の皆さんの不安を解消します。大多和会長は「これを機に市との協力関係を深めたいです」と述べました。



ウェブ・エリス・カップがやってきた

11月7日

スクラム先生プロジェクトの一環で、元ラグビー日本代表の小野澤宏時さんが東小学校を訪れ、5年生を対象に実技指導や講義を行いました。サプライズで披露されたワールドカップ優勝チームに与えられる「ウェブ・エリス・カップ」を目の前に子どもたちは大興奮でした。